

ワークショップ(全3回)

県内で活躍している人の話を聞きながら、理想の未来をイメージし、その未来に向けて、一歩踏み出す時の課題感や必要な支援などを考えました。

ワークショップ1:令和4年8月28日(日曜日)

ゲスト:門間ゆきの氏(九州地域間連携推進機構株式会社/名山新聞編集長)



1993年生まれ、愛知県名古屋市出身。京都大学総合人間学部卒業後、2017年に鹿児島の南日本新聞社に就職。2021年4月からフリーランスとなり、一般社団法人テンラボ・九州地域間連携推進機構株式会社で、まちづくりの修行中。鹿児島市名山町を拠点に、「名山新聞」を発行。新聞とお茶の朝の会「新聞でおはようバカンス」主催。「わかおかみおかわかめ」の名で「おかわかめ」の魅力を発信している。

テーマ:ライフワークとライスワーク



暮らしが豊かになる活動(ライフワーク)と生活のための仕事(ライスワーク)について、「“私”を見つめ直し理想の未来の働き方・暮らし方を考えよう、そこへ向かう一歩を考えよう」ということで、講師が会社員時代にやってきたことや、フリーランスになってからの働き方・暮らし方についてお話いただきました。理想の働き方・暮らし方をするためには、自分の幸せな時間や好きなこと

に気づくこと、身近な理想(ロールモデル)を持つこと、自分に足りないもの(スキルやそれを獲得するための時間)に気づくこと、いろいろな人とつながっておくこと、人にしゃべってみること、直感を大切にすること、時が来たら動くことが大切とのことでした。

参加者の感想

- 女性の働きやすさについて実現されている方のお話がすごく参考になりました。
- 活動も楽しんでやることの大事さを教わった。
- お話が具体的で、実践可能なことだったので自分の身のまわりでも想像しやすかった。
- お話が聞けて、何か一歩踏み出せそうでした。誠実な人柄を伺うことができました。
- ゲストの方が場を和ませようとし、聞きやすい内容でした。自分の働き方、今後の職業観を見つめる良いきっかけになりました。

ワークショップ 2:令和 4 年 10 月 9 日(日曜日)

ゲスト:川口塔子氏(日本茶プロデューサー／tottoco)



1990 年鹿児島市生まれ。新卒で都内のスタートアップ企業に就職後、都内にある NPO 法人に転職し、鹿児島への移住希望者を支援する「相談員業務」に従事。移住支援を行う中で鹿児島の産業であり特産品である「お茶」に興味を持ち、日本一のお茶のまち「南九州市」へ地域おこし協力隊として移住した。現在は tottoco(トットコ)の屋号のもと、PR プロデューサーとして独立し、お茶の生産者や問屋の商品やサービス開発の支援などを行っている。

テーマ:地域を生かした仕事を作る

大好きな「お茶」を仕事にできた理由として、「とにかく”好き”と叫ぶ」「人の縁を大切にする」「課題解決型の提案を続ける」ことをあげていました。お金にならなくても活動するのははじめの一步として重要で、地域のキーマンや行政と繋がり、やりたいことよりも、求められていることに忠実に動くことで仕事になるとのこと。講師は入院先からのリモート参加だったのですが、画面上からも力強さが伝わって、参加者は勇気づけられていました。



参加者の感想

- 自分が目指している活動・生き方の先駆けをしていらっしゃる塔子さんのお話が聞けたことと、若い方のお話が聞けてよかったです。
- 普段、学べないこと、なかなか落ち着いて考えられないことを考える良い時間になりました。充実した時間をありがとうございました。
- 自分の進路にひびいた。今の自分を変えたいと思った。
- やりたいことなどが分からない中で、勇気をもらえる講話だった。

ワークショップ 3:令和 4 年 11 月 13 日(日曜日)

ゲスト:玉井妙氏(コミュニティナース)



鹿児島出身。鹿児島大学卒業後、大学病院を経て、島根県雲南市地域自主組織「躍動と安らぎの里づくり鍋山」に地域づくり応援隊兼コミュニティナースとして着任。現在は霧島市の病院に勤務しながら、カフェ「畑のごちそう」を拠点にコミュニティナース活動を行う。

テーマ:地域に寄り添う仕事

コミュニティナースとは、地域の人々の暮らしの身近な存在として、「心と体の健康と安心」をまちの人と一緒につくっていくという、実践のあり方をあらわしているそうです。講師は、一人ひとりが得意なことや助けてほしいことを持ち寄る「地域まるごとお節介会議構想」や、口の筋肉を鍛えて競う「くちビルディング選手権」など多世代がつながる活動を実践。「ゆるやかな繋がりの中で人生の最期まで生きがいを持ちながら暮らすことができる。そんな人生が当たり前になったらいい。」という想いが伝わる優しい時間でした。



参加者の感想

- 病院・保健所の対応では難しい独居老人の方、老老介護等、訪問により将来起こりうる病気を防ぐために人と人のつながりを大事にすることは初めての情報で面白かったです。
- わずかな時間でしたが、質疑応答も盛り上がり参加者とゲストの熱意を感じることが出来ました。
- コミュニティづくりのヒントをいただいた。
- 今回もゲストの方がすてきな方で、お話を聞けたということと、高校生や若い方とお話することができとても良かったです。

交流会:令和5年2月19日(日曜日)

これまでのワークショップの振り返りや最新の鹿屋市の男女共同参画に関する市民意識調査の読み込みなどを実施。ワールドカフェ形式のグループワークで地域の今後に関する意見交換などを行いました。



参加者の感想

- 初めて参加して楽しかった。発表とかがないので気楽に参加できた。
- 上下関係なく自由な意見を共有し合えた。
- 同じテーマでもいろんな意見の人がいて、それを聞いたり話し合うのがすごく有意義だったから。
- 自分と違う考えもたくさんあって勉強になりました。私は働くのが当たり前で、どうやって働くのかという目線でしたが、「家庭にいて子育てをしたいんだ！」という方が多く、すれ違いも感じました。
- いろいろな業種や立場の人と意見を交わせてよかったです。男女問わず輝ける町・鹿屋であるように願っています。